

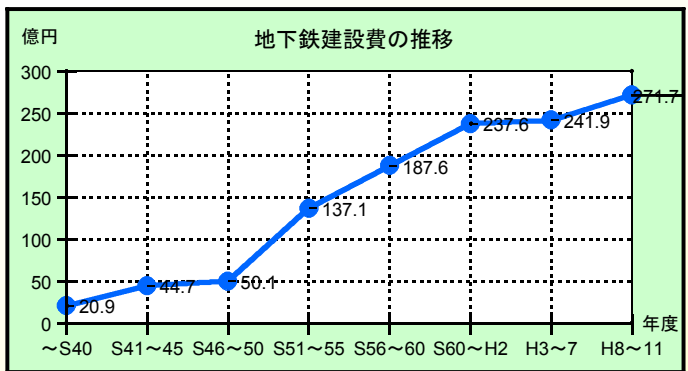
# NO! リニア

No. 10  
 2009年11月 2日  
 JR東海労働組合  
 リニア反対プロジェクト

## 5.1兆円でリニアはできるのか!?

会社は、リニア（東京～名古屋間Cルート）の費用を5兆1,000億円、車両費を除くと建設費4兆8,000億円と試算しています。全長から実験線42kmを差し引くと、1km当たりの建設費は約196億円です。リニアは約8割がトンネルとされています。果たして、この試算で建設が可能でしょうか？

上グラフは、地下鉄建設費の推移（全国平均）で、10年前でさえ1km当たり271億7,000万円もかかっています。下グラフは、プロジェクト別の建設費です。ちなみに、リニアは両脇の推進コイルの厚さのため、トンネルの直径は12.5mといわれています。標準軌（1,435mm）設計の青函トンネルの9.7mよりさらに太い構造です。車幅が狭い地下鉄大江戸線とは比較にもなりません。



また、この間のプロジェクトは、試算と実費の差が2倍前後開きがあります。東海道新幹線は、予算1,800億円に対し、3,800億円を費やしました。どのプロジェクトも認可をもらうための過少申告といわれています。各プロジェクトの実績を踏まえると、リニアは約10兆円の建設費がかかる計算になるのです。

